［広報］
# さめがわ
4
April 2015
第732号
平成27年４月１日発行
（毎月１日発行）
Public Relations SAMEGAWA



## 農家民宿の可能性
【特集】

農家民宿を開業した増子信男さん（61）と三代さん（61）
来客を優しい笑顔で「おかえり」と迎え入れる
温かい人情と飾らないおもてなしは鮫川ならでは
素朴であればあるほど、幸せの記憶は鮮明に残る
「また来ます」と帰る人が、「ただいま」と帰ってくる
そんな心のふるさとを目指し、本格始動する農家民宿に密着した



【特集】

# 農家民宿の可能性

# 発進

## 動き出した農家民宿

**「暮らす家」から「人を迎え入れる家」に生まれ変わった7軒**
**本格始動に向けて準備は整いました**

### 農家民宿とは

農家に泊まり、地元食材で作られた料理を食べ、農作業をするなどして、地元の人たちと交流ができる農家民宿。農村の豊かな自然、生活や文化などに直接触れられる新しい旅のスタイルです。

これまで生活の場であった農家が、人を呼び、おもてなしをする場所になる。これならば新たに宿泊施設を建てなくても、鮫川村に宿泊する人を増やせます。これは村が取り組んできた「あるもの生かしの村づくり」そのものです。

自ら作った農産物や山から採った山菜などを、自分の手で調理し、消費者に直接提供でき





1_野菜収穫を体験する青菅小の児童と受入農家／2_朝日山登山が雨天のため中止。代わりに「ほっとはうす・さめがわ」でバウムクーヘン作りに挑戦／3_別れに涙を流す児童と受入農家。2泊3日でも心が通い合った（青菅小グリーンスクール）

**グリーン・ツーリズム**
農山漁村に長く滞在し、農林漁業を体験したりその土地の自然、文化に触れたりしながら、地元の人たちと交流する旅。滞在期間は、日帰りから長期的または定期的・反復的な場合までさまざま。ヨーロッパでは、農村に滞在してバカンスを過ごすというスタイルが普及している。



**上**_野菜をふんだんに使った料理を楽しむ都市住民。その新鮮さに感動し、ひっきりなしに箸がのびる／**右**_小雨が降る中での野菜収穫体験となったが、童心に帰ったように楽しむ都市住民(しらかわアグリツーリズモin鮫川)



**農家民宿の人の愉快なトークと気配りが行き届いていた**

50代男性

採れたて野菜の料理が盛りだくさんでよかった

60代女性

**地元のおいしい食材を食べられてよかった**

10代男性

緑と田んぼの稲とのコラボレーションが何とも言えない

70代女性

**散歩中に出会った人とあいさつを交わせたことが幸せ**

50代男性

※参加者を対象に実施したアンケートの一部抜粋

るのは、究極の「産地直送」。新鮮な食材を地域特有の調理方法や味付けで堪能できるのは、お客さんにとって最高のぜいたくであり、農家民宿の魅力の一つでもあります。

## 子どもたちとの交流に感動

村は、1987年の東京鮫川会発足を皮切りに、グリーン・ツーリズムに取り組んできました。95年には、都市交流の拠点施設として体験交流型宿泊施設「ほっとはうす・さめがわ」を整備。東京農大、大妻女子大や福島大などを受け入れ、交流の幅を広げてきました。

08年からは、農山漁村で子どもたちに宿泊体験をさせる全国的な取り組み「子ども農山漁村交流プロジェクト」がスタート。村は、この事業を受け入れるため、それまで個別に活動していた団体や指導者が連携して活動する組織「鮫川村農村体験交流協議会(グリーン・ツーリズム協議会)」を発足させました。

10年、農家民宿開業を加速させる転機が訪れました。青菅小学校(千葉県佐倉市)グリーンスクールの受け入れです。小学6年生48人が農家13軒に分かれて宿泊。子どもたちは各農家との交流を存分に楽しみ、帰るころには、「お父さん」「お母さん」と呼ぶほど絆を深めました。当時、子どもたちを受け入れた根本良子さん(62)＝西山字岩野草＝は「本当に楽しかったです。子どもたちが帰ってしまったときは、寂しさで気持ちが落ち込むほどでした」と振り返ります。このときの感動が、農家民宿開業への意欲を高めたのです。

同協議会は、12年から講習会や先進地視察などを行い、14年2月には村内7軒の農家が開業許可を取得しました。同年5月には、「鮫川村農家民宿連絡協議会」を設立。9月には、県南農林事務所主催の「しらかわアグリツーリズモin鮫川」が行われ、受入体制や都市住民のニーズなどを学びました。農家民宿の本格始動に向け、準備は整いました。

日ごとに暖かくなる中、鮫川の農家民宿は、春のシーズンを迎えます。



喜多方市の農家民宿を視察。囲炉裏を囲みながら、おもてなしを体感する参加者

# 発光

# ここにしかない光がある

**都市住民を魅了し、夢中にさせる何か**
**それはこの村で過ごす、最高の時間**

## おもてなし好きの村民性

来客があれば、お茶はもちろん、お茶菓子や自家製の漬物などが次から次へとテーブルに並びます。もてなすことが好きで、他人のために何かをして喜んでもらうことに喜びを感じる人が多い鮫川村。

しかし、現在はそのおもてなし好きの村民性を生かす機会が減っています。以前は、多世代同居の家が多くありましたが、核家族化、少子化が進んだことで世代間分離が起きています。孫に手料理を振る舞い、喜んでもらうという機会も必然的に減りました。

そのような状況の中、農家民宿はおもてなし好きの村民性を最大限に生かせる舞台なのではないでしょうか。

## 収入よりも交流が喜びに

利用者から宿泊料をもらうことが、収入の確保につながることは事実です。しかし、経営者にとっては、それ以上に大切なものがあります。それは都市住



## 自然体で迎え入れるおもてなしを



村農家民宿連絡協議会長
**須藤啓太郎さん**
63　西山字岩野草

きっかけは、2010年に青菅小の子どもたちを受け入れたことです。お別れ会では、子どもたちも私たちも涙を流しました。そのときの感動が忘れられず、仲間を募って開業に向けて動き始めました。普段の生活の中に都会の人たちを迎え入れることが1番のおもてなしになると考え、自然体で受け入れるように心掛けています。

少しでも村の活性化につなげようと、入浴は「さぎり荘」を、お土産の購入などは「手・まめ・館」を利用するようにしています。今後は、商店なども利用したいですね。農家民宿を通して鮫川村を知ってもらえれば、移住定住や空き家対策などにつながる可能性もあるので、頑張って宣伝もしていきたいと思っています。

青菅小の受け入れは、原発事故の影響で継続できなくなってしまいましたが、子どもたちを受け入れたい思いは変わりません。農家民宿の受入人数は1軒当たり4、5人。現在の7軒では、やっと1クラス分になるくらいで、学校単位の受け入れは難しいのが現状です。もっと農家民宿が増えればいいなと思います。

農家民宿同士のつながり、行政との連携や地域の人たちの理解と協力を得て、体験メニューやおもてなしの質を充実させることも大切です。これによって、お客さんの満足度や鮫川村の印象が格段に上がると思います。

鮫川村の農家民宿は、やっとスタートを切ったばかり。これからさらに面白くなりますよ。



**農家民宿「山百合（やまゆり）」**【宿主】須藤啓太郎【住所】鮫川村大字西山字岩野草31（☎0247㊾2872）【宿泊人数】5人【営業日】年中無休（要相談）【時間】チェックイン15時～／チェックアウト9時【料金】6500円（1泊2食付）





**左**_夕食を食べながら会話を楽しむ利用者と受入農家／**上**_私たちが普段から食べている料理が最高のおもてなしになる

民との交流です。

農家民宿「郷里（さと）」を営む本郷訓子さん（57）＝西山字落合＝は「若い人たちの話を聞けるのが楽しいです。夫婦だけではできないような会話ができます」と目を細めます。

都市住民の生活や価値観を知ることができたり、反対に農業や農村の生活の魅力を伝えたりできることは、受け入れにかかる手間や苦労を上回る喜びを与えてくれます。

お酒を酌み交わし、地元の食材を使ったメニューや郷土料理に箸をのばせば、さらに会話は弾みます。やむことなく続く会話は、普段の生活では味わえない、刺激や喜びを共有させてくれるのです。

## お金で買えないぜいたく

都市住民は、なぜ決して便利とはいえない農家民宿を選ぶのでしょうか。

一流ホテルや高級旅館は、行き届いた接客、豪華な料理、便利な設備や美しい客室など、お金を出せば「最高の空間」を提供してくれます。しかし、人やモノがあふれる豊かな社会の中で生活し、接客慣れした都市住民にとって、それらは珍しいものではありません。むしろ「物足りなさ」を感じてしまうことも少なくないでしょう。

一方、生活感が漂う広い和室、まきで沸かした風呂、地元の気候・風土を最大限に生かした郷土料理などは、農家民宿でなければ味わえないものです。素朴さ（純情）、優しさ（愛情）、温かさ（人情）など、情を感じられるおもてなしは、忘れられない思い出となります。

まるで本当の家族と一緒にいるような「最高の時間」を過ごせること。それこそがお金では決して買えない、キラリと光るこの村の魅力。

鮫川村に来なければ分からない自然の豊かさ、食べられない料理や普段触れることの少ない人の温かさを提供され、都市住民はお金では買えない、とてもぜいたくな「鮫川時間」を満喫するのです。

**Interview**

実習期間中、農家民宿を利用した大学生に聞きました

### おばあちゃんの家にいるような気持ちに

**石川菜摘さん（20）　東京農大短大部醸造学科2年**



みんないい人ばかりで、まるでおばあちゃんの家にいるような気持ちになりました。実習で疲れたときもおいしい夕飯のことを考えると頑張れました。実習が鮫川村でよかったです。

### 地域の人と話して行事や郷土料理を知った

**岩永みちるさん（20）　東京農大短大部醸造学科2年**



地域の人の話を直接聞いて、行事や郷土料理について知ることができました。旅館などに泊まったら経験できなかったことだと思います。家族や友達を連れて、また鮫川村に来たいです。

# 発見

# 極上は日常の中に

**私たちにとっての日常が都市住民にとっては非日常**
**農家民宿がふるさとの価値を見直す機会に**

## 観光資源は日常の中に

夜空を見上げれば無数の星、これを当たり前に感じている私たち。しかし、都市住民がこの星空を目の当たりにすると、歓声を上げずにはいられません。豊かな自然、美しい農村景観、澄んだ空気、満天の星空、丹精込めて作られた農産物や地元食材を生かした料理など、私たちにとっての日常が都市住民にとっては非日常であり、極上の魅力なのです。

### 郷里（さと）



**住所**　鮫川村大字西山字落合84
☎0247㊾2588
**宿泊人数**　4人
**営業日**　5月～10月(要相談)
**時間**　チェックイン16時～
チェックアウト10時
**料金**　6,500円(1泊2食付)
**体験**　作付け、収穫、田植え、稲刈り



**訓子さん　本郷臣夫さん**
Noriko　Hongou Tomio

### 寿満笑留（すまいる）



**住所**　鮫川村大字西山字折戸56
☎0247㊾2896
**宿泊人数**　5人
**営業日**　土・日曜日(平日は要相談)
**時間**　チェックイン15時～
チェックアウト10時
**料金**　6,500円(1泊2食付)
**体験**　郷土料理作り、お菓子作り、山菜採り、農作業



**春江さん　阿久津一男さん**
Harue　Akutsu Kazuo

### はなの宿（や）



**住所**　鮫川村大字西山字岩野草27
☎0247㊾2870
**宿泊人数**　5人
**営業日**　年中無休(要相談)
**時間**　チェックイン15時～
チェックアウト9時
**料金**　6,500円(1泊2食付)
**体験**　田植え、稲刈り
**その他**　合鴨料理(11月20日～2月末) ※1週間前までに予約



**根本良子さん**
Nemoto Yoshiko

**鮫川村農家民宿開業費補助金**
村内に住所があり、村内で農家民宿を開業しようとする人または団体に、補助金を交付する。補助金の対象となる経費は、旅館業の営業許可および飲食店の営業許可取得に必要な許認可申請費用。経費の2分の1以内の額を補助する。申請方法などの詳細については、役場企画調整課（☎㊾3115）に問い合わせてください。

観光資源は私たちの日常の中にあふれています。しかし、それが当たり前になってしまうと、その価値や魅力に気付きにくくなってしまいます。

ゲンゴロウやホトケドジョウを見て驚く顔、星空や農村景観に感動したり、料理やもてなしに喜んだりする姿を見ると、うれしくなります。交流によって村の魅力を発信するだけではなく、私たち自身が、ふるさとの価値を見直すことができるのです。

## 農家民宿は北斗七星

鮫川の農家民宿はスタートしたばかりです。ふるさとの価値を再発見しながら、試行錯誤を繰り返し、「おもてなし」の質を向上させています。

利用者に満足度の高いおもてなしを提供するためには、1軒1軒がその個性に磨きをかけて行くことが必要です。同時に、大人数の受け入れや協力しての体験メニューなどで、その可能性を広げていくことも重要です。

ふるさとの星空の下、7軒が北斗七星のようにつながることで、農家民宿全体がますます輝きを増していくのです。

### くるま



**住所**　鮫川村大字富田字前沼218
☎0247㊾3211
**宿泊人数**　5人
**営業日**　年中無休(要相談)
**時間**　チェックイン16時～
チェックアウト9時
**料金**　6,500円(1泊2食付)
**体験**　作付け、収穫



**カツ子さん** Katsuko　**青戸良一さん** Aoto Ryouichi

### たんがら



**住所**　鮫川村大字渡瀬字中野町46
☎0247㊽2130
**宿泊人数**　3人
**営業日**　年中無休(要相談)
**時間**　チェックイン15時～
チェックアウト10時
**料金**　6,500円(1泊2食付)



**遠藤サト子さん** Endou Satoko

### ほうずき



**住所**　鮫川村大字西山字田中23
☎0247㊾3096
**宿泊人数**　5人
**営業日**　年中無休(要相談)
**時間**　チェックイン15時～
チェックアウト10時
**料金**　6,500円(1泊2食付)
**体験**　そば打ち、まき割り、農作業



**増子三代さん** Mashiko Mitsuyo

# 発信

# ありのままの鮫川を

## 農家民宿の経営者が、そして村民一人一人が鮫川村をアピールする広告塔になり得ます



失礼な言い方かもしれませんが、鮫川村は、観光地ではありません。閑静な場所、山の中、いや、「何もない所」と聞きました。それが私にとっては魅力的で、「絶対に行きたい」と思いました。

実際に鮫川村を訪れてみると、空と川の美しさが印象的でした。野菜収穫体験では、夢中になって野菜や土を触りました。夕食は、採れたての山菜をふんだんに使ったメニューでした。東京のスーパーで売っている物とは比べものにならない鮮度。本当においしくて、最高のおもてなしだと思いました。

農家民宿の明るくて楽しいお母さん、穏やかで優しいお父さん、お二人の人柄に癒やされ、日常とはひと味違う至福の時を過ごすことができました。私にもふるさとができたと勝手に思っています。鮫川村は何回も訪れたい場所になりました。また鮫川村に「帰りたい」です。

農家民宿のお父さんお母さんとの交流は、今でも続いています。野菜を送ってもらったときには、うれしくてFacebookに投稿しました。鮫川村、鮫川村の人や農家民宿の良さを少しでも多くの人に知ってほしかったからです。投稿を見た友人からは、「いいな」「よかったね」など、うらやましがられました。SNSを利用すれば簡単に情報発信ができ、「拡散」「シェア」してもらうことで情報はさらに広がります。1人でも多くの人が「鮫川村に行ってみたい」と思い、足を運ぶきっかけになればこんなにうれしいことはありません。



**原　明子（めえこ）さん**（65）
東京都港区

生まれも育ちも東京都港区。子どもの頃から田舎暮らしに強い憧れを抱く。観光地から外れた田舎を旅行し、福島県にも何度も足を運んでいた。震災を機に、福島県に恩返ししたいと思い、被災地の復興支援を行うNPO法人「Power of JAPAN」に加入。同団体が企画した「しらかわアグリツーリズモin鮫川」に参加し、農家民宿を利用した。

### 多くの人に鮫川村、鮫川村の人や農家民宿の良さを知ってほしい

### 村全体に広がる可能性

村外から人が来れば、少なからず地域経済は活性化します。しかし、農家民宿は、今までになかった新たな恩恵を生み出す可能性を秘めています。

農家民宿が軌道に乗ると、2つのコミュニティーが動き出します。1つは、農家民宿を利用する人と地元の人のコミュニティー、いわば「外側のコミュニティー」。もう1つは、農家民宿同士、そして農家民宿を応援する地域の人とのコミュニティー、つまり「内側のコミュニティー」です。

農家民宿「たんがら」を営む遠藤サト子さん（62）＝渡瀬字中野町＝は「仲間に励まされて開業を迎えられましたが、自分たちだけでは体験メニューに限りがあります。鮫川村には素晴らしい技術を持った名人がたくさんいます。その技術は村の宝です。名人たちの力をお借りして、都会の人たちをおもてなししたい」と話します。

内側と外側の2つのコミュニティー、この2つが両輪となって動き出すことで、地域はさらに活性化していきます。

**SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）**
人と人とのつながりを促進、サポートするコミュニティー型のウェブサイト。友人、知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場、新たな人間関係を構築する機会を提供している。「Facebook」「LINE」「Twitter」など、さまざまなSNSが開設されている。近年では、世界的な利用者の増加に伴い、各国の企業や政府機関なども積極的に利用し、情報発信を行っている。



## 新たな情報発信の拠点に

スマートフォンが普及し、誰でもどこでも簡単に情報を得たり発信したりすることができる現代。ＴｗｉｔｔｅｒやＦａｃｅｂｏｏｋなどのＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、ブログによるＰＲなど、農家民宿は新たな情報発信の拠点にもなり得ます。

「少しでも村の魅力を発信していきたい」と話す農家民宿「寿満笑留（すまいる）」の阿久津春江さん（61）＝西山字折戸＝は、ＳＮＳを介して利用者とつながり、互いの近況を確認し合っているといいます。「くるま」の宿主・青戸良一さん（73）＝富田字前沼＝も「私たちが鮫川村の魅力を発信すれば、理解者、ファンが増える。心強いし、やりがいにつながる」と話します。

鮫川の自然や料理などに感動した利用者が、ＳＮＳやブログに投稿し、投稿を見た人が「鮫川村に行ってみたい」と足を運ぶこともあるでしょう。

農家民宿発の情報は、強いつながりと影響力を持って連鎖し、村のファンを増やしていく可能性があるのです。

## 輝きを増す鮫川の宝

先人から受け継がれてきた農家の暮らしと、新しく始まる地域内や都市との交流が、これからの星空（鮫川村）を作っていきます。農家民宿を開業した７軒は、北斗七星のように輝き、星空の中で存在感を増してきましたが、星空に輝くのは星座だけではありません。

星空に瞬く星の一つ一つは、私たち一人一人。一つ一つの星（人）が輝きを増すことで、星空はさらに美しくなり、私たち自身を、都市住民を魅了するはずです。

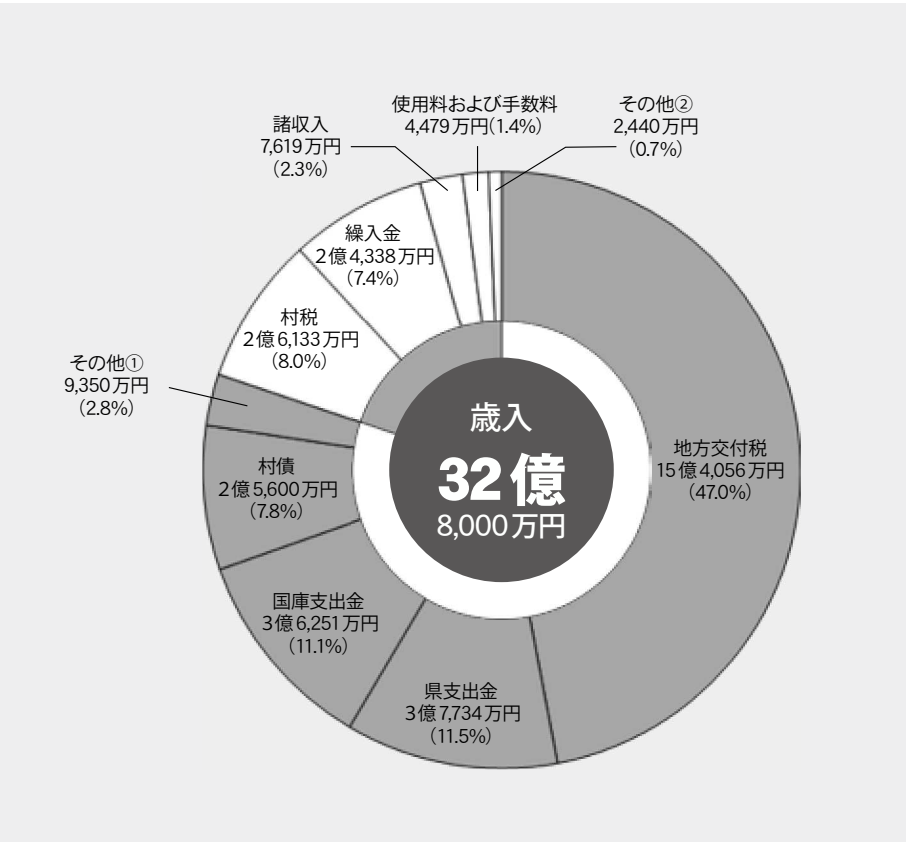
宝石箱のような夜空は、ずっと前から輝いてきた鮫川の宝。その宝に磨きをかけ、これまで以上に輝かせていくのは、私たち一人一人なんだと思います。



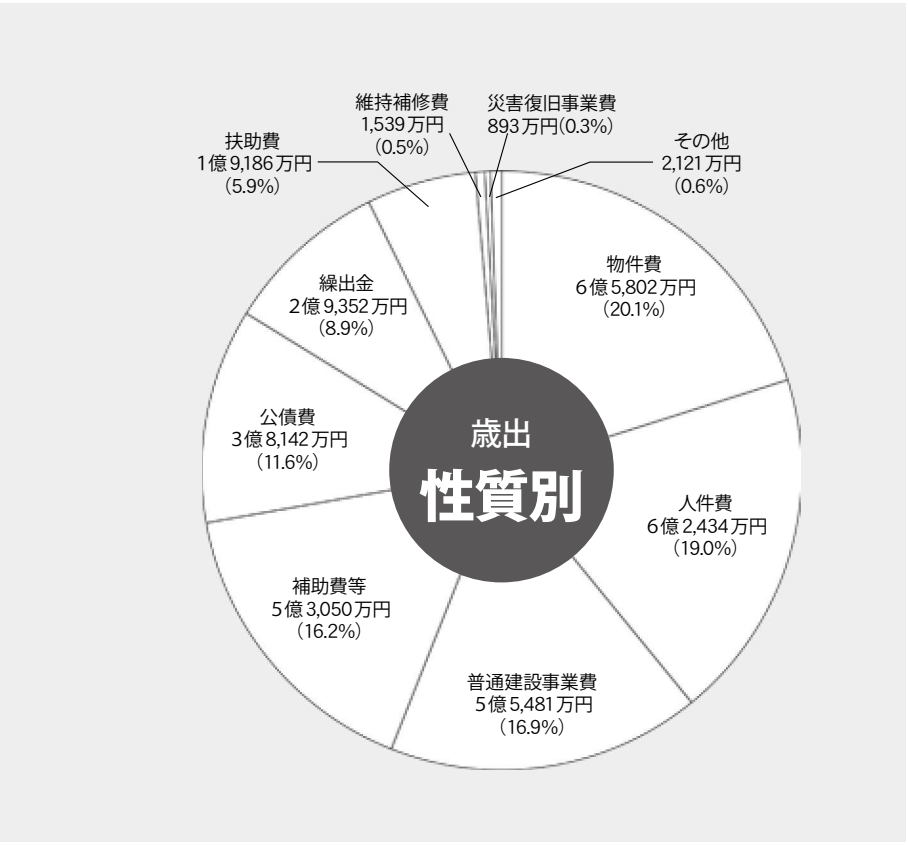
鮫川村の農家民宿を利用した感想などが掲載されたFacebook（NPO法人「Power of JAPAN」公式Facebook）

# 平成27年度 当初予算

27年度の村づくりが始まりました。一般会計の当初予算は、26年度に比べて1億4400万円（4・6％）増の32億8000万円となりました。27年度は、今後10年間の村づくりを定めた「第4次鮫川村振興計画」が新たにスタートします。目標の達成に向けて各種事業を行うとともに、東日本大震災からの復興を着実に進め、元気の出る村づくりに取り組みます。




**8,000万円** 前年度比 4.6%増



用語解説

**【歳入関連】**

■**自主財源**…村税(村民税や固定資産税など村の税金) や使用料(保育料や住宅使用料など)、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金。

■**依存財源**…地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金。

■**地方交付税**…すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の2つからなる。

■**繰入金**…各種基金から繰り入れるお金。

■**村債**(**地方債**)…道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期間借り入れるお金。

**【歳出関連】**

■**物件費**…委託料や消耗品、備品の購入、臨時職員の賃金などに使われるお金。

■**人件費**…職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金。

■**普通建設事業費**…道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金。

■**補助費等**…各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金。

■**公債費**…村債の元利償還金。

■**繰出金**…一般会計から特別会計へ繰り出すお金。

■**扶助費**…高齢者や障がい者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金。

歳入は、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

自主財源は、村税をはじめ村が自主的に収入できるお金で、依存財源は国や県から交付されるお金や借金をいいます。自主財源が多いほど、村の運営は安定し、独自性を保つことができます。

今年度は、自主財源である村税や使用料および手数料は前年度と同程度となりましたが、基金繰入金の減少により4,405万円減少しています。

依存財源では、地方消費税交付金や地方交付税、国庫支出金が前年度に比べて1億8,805万円増加しています。

# 一般会計 総額32億

歳出予算のうち、一部事務組合への負担金や産業団体に対する補助金などの補助費等は前年度に比べて1億3,865万円増加しています。

また、公営住宅の整備や村道、農道の舗装・改良工事など普通建設事業費が前年度に比べて1億381万円増加しています。

一方で、農用地・山林除染委託料、施設管理費、臨時職員の賃金などの物件費は前年度と同程度となりましたが、職員などの給料を支出する人件費、扶助費、災害復旧事業費は、前年度に比べて9,576万円減少しています。

## ■会計別予算の状況

| 会計別 | | 予算額 | 対前年度比 | 伸び率(%) |
|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 32億8,000万円 | 1億4,400万円 | 4.6 |
| 特別会計 | | 14億3,906万円 | 1億2,583万円 | 9.6 |
| 国民健康保険 | 事業勘定 | 5億1,864万円 | 5,740万円 | 12.4 |
| | 直診勘定 | 6,938万円 | △131万円 | △1.9 |
| 簡易水道事業 | | 1億9,975万円 | 5,075万円 | 34.1 |
| 村営バス事業 | | 773万円 | 19万円 | 0.2 |
| 集落排水事業 | | 3,149万円 | 48万円 | 1.5 |
| 介護保険 | | 4億6,014万円 | 2,117万円 | 4.8 |
| 交流施設 | | 1,370万円 | △40万円 | △2.8 |
| 学校給食センター | | 1億309万円 | △110万円 | △1.1 |
| 後期高齢者医療 | | 3,514万円 | △117万円 | △3.2 |
| 予算総額 | | 47億1,906万円 | 2億6,983万円 | 6.1 |

**村民1人当たりに使われるお金は854,389円です。**
**(前年度は802,867円でした)**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 民生費 | 161,942円(2,781円増) | 衛生費 | 94,076円(8,059円増) |
| 農林水産業費 | 146,142円(12,440円増) | 教育費 | 63,373円(9,148円減) |
| 総務費 | 117,124円(1,763円減) | 消防費 | 29,696円(7,572円減) |
| 土木費 | 106,961円(72,015円増) | 商工費 | 15,399円(12,568円減) |
| 公債費 | 99,354円(13,941円増) | その他 | 20,322円(26,708円減) |

※一般会計のみ。H27.3.1現在の人口3,839人で計算。

# お金の使いみち



森林環境交付金を利用した木製の机と椅子

## 【農林水産業費】　5億6,104万円

農林業の振興や農林道の整備などのため

○中山間地域等直接支払交付金事業　1億757万円
○ふくしま森林再生事業　1億1,874万円
○農道整備事業　7,450万円
○多面的機能支払交付金事業　2,115万円
○農用地除染事業　1,070万円




こどもセンターお別れ会

## 【民生費】　6億2,170万円

高齢者、子どもや障がい者などの福祉のため

○こどもセンター運営費　1億8,619万円
○障がい者福祉事業　9,931万円
○高齢者生活支援事業　842万円
○敬老祝金支給・敬老会開催事業　583万円
○乳幼児紙おむつ給付事業　312万円




消防車両による分列行進（消防団出初め式）

## 【消防費】　1億1,400万円

消防施設の整備や消防団活動のため

○広域常備消防運営費　7,755万円
○消防団活動事業　2,209万円
○防災行政無線施設管理業務　645万円
○小型動力ポンプ積載車整備事業　313万円
○消防施設整備事業　117万円



たくさんの本が並ぶ図書館

## 【教育費】　2億4,329万円

学校教育、生涯学習や体育振興などのため

○体育施設解体事業　1,321万円
○体育施設指定管理業務　1,019万円
○基礎学力・英語力向上推進事業　1,046万円
○スクールバス運行事業　965万円
○図書館運営事業　841万円



6～7カ月児健康相談

## 【衛生費】　3億6,116万円

保健事業、予防接種や環境衛生などのため

○東白衛生組合・東白斎苑運営費　1億5,048万円
○乳幼児・妊産婦医療費助成事業　1,717万円
○住民健康診査・がん健診事業　1,765万円
○予防接種事業　1,013万円
○浄化槽設置整備事業　428万円



村営バスあおぞら

## 【総務費】　4億4,964万円

選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのため

○湯の田地区整備事業　3,500万円
○行政区振興事業　1,519万円
○生活バス路線運行事業　1,220万円
○村議・村長・県議選挙執行費　1,092万円
○住宅用太陽光発電設備設置補助事業　140万円



鹿角平観光牧場に建てられたコテージ

## 【商工費】　5,912万円

商工業の振興や観光施設の整備などのため

○商工業振興事業　1,653万円
○観光推進事業　918万円
○鹿角平施設整備事業　540万円
○消費者行政推進事業　248万円
○鹿角平観光牧場指定管理業務　235万円



整備された村内の道路

## 【土木費】　4億1,063万円

道路や住宅を整備、維持するため

○村道舗装補修事業　1億9,300万円
○公営住宅整備事業　1億3,900万円
○村道維持管理事業　1,824万円
○道路環境美化事業　995万円
○橋りょう点検業務　810万円

第４次鮫川村振興計画

# 新しい指針が決定

**25年9月から策定作業を進めてきた「第４次鮫川村振興計画」の基本構想が決定しました。今後10年間の村づくりの指針となります。**

**この振興計画（基本構想）は、「住民アンケート調査」「行政区懇談会」「村づくり委員会」などからの提言や思いを受けて、新たな村づくりに向けて策定したもので、27年度からスタートします。**

## 村づくりの基本理念

人口減少・高齢化社会のなかで、環境と共生しながら持続可能な新しい村づくりを進めるために、すべての分野において基本とする村づくりの原則を次のとおり定めます。この基本理念には、「村民が世代を超えてつながり支えあい、一人ひとりが輝く村づくりをすすめる」という想いや「先人の知恵や技を継承し、新しい時代にふさわしいものに発展させていく」という想いなどが込められています。

## つながりで　支え輝く　村づくり
### ～笑顔あふれる　ふるさとの創造～

基本理念を踏まえて、村づくりの３つの方向性を次のとおり定めます。



### 1.「まめな暮らし」を生かした村づくり

これまで積極的に進めてきた鮫川流の「まめな暮らし」を生かした村づくりを今後も継承し、さらに発展させ、村全体を地域ブランドとして確立する村づくりを進めます。



### 2. 人が集まる美しい村づくり

基幹産業である農業を村づくりの中心に据え、活力あふれる村づくりを進めるとともに、本村ならではの地域特性・資源を生かし、多くの人が集まる美しい（美味しい）村づくりを進めます。



### 3.「つながり」を生かす村づくり

人と人、人と地域、都市と農村など多様な「つながり」を生かす村づくりを進めます。人の輪、地域の和を大事にし、みんなで支えあい、生きがいと夢を持ち、自己実現できる村づくりを進めます。

## 目指す将来像

### きれいで安全なふるさと鮫川

- ●環境保全・美化活動の促進
- ●上下水道の整備
- ●公園・緑地の整備充実
- ●消防・防災の充実　ほか

### 健やかで安心なふるさと鮫川

- ●保健・医療の充実
- ●子育て支援の充実
- ●高齢者支援の充実
- ●健康づくりの促進　ほか

### 活力と交流に満ちたふるさと鮫川

- ●農林業の振興
- ●観光・交流の促進
- ●商工業の振興
- ●雇用対策の推進　ほか

### 人と文化が輝くふるさと鮫川

- ●学校教育の充実
- ●生涯学習の推進
- ●スポーツの推進
- ●文化芸術活動の促進　ほか

### 生活基盤が整ったふるさと鮫川

- ●住宅施策の推進
- ●定住・移住の促進
- ●道路・公共交通の充実
- ●情報化の推進　ほか

### ともにつくるふるさと鮫川

- ●地域づくり活動の支援
- ●協働の村づくりの推進
- ●計画的な自治体経営の推進
- ●男女共同参画の促進　ほか

## 重点構想

分野横断的に村一体となって重点的に取り組む８つの重点構想を定めました。

### ❶ つながりでさめがわ回帰

鮫川村とつながりのある人々、歴史や伝統・文化とつながりたい人々の帰郷や移住促進

### ❷ 中心市街地・空き家・集落対策

創意工夫で生き生きとした生活空間を守る

### ❸ こども・若者・女性の定住

こどもが夢を持ち若者や女性が自己実現できる環境をつくる

### ❹ 多様な働き方

伝統食や生活文化を掘り起こしまめな仕事をたくさんつくり定住を促進

### ❺ つながりで顔の見える交流

農村文化と都市の人々がつながる顔の見える交流で移住や人材・仕事の誘致を促進および村民の技術や知識を高める

### ❻ 新しい農業観による農業振興

食と農と環境がつながる懐の深い農業の推進

### ❼ 地域自給自足の理念

循環型農業や自然エネルギーを活用したエネルギーの地産地消の推進

### ❽ 観光資源の整備充実によるにぎわい創出

農村の暮らしまるごと観光資源

エン・ドゥ・ライフ　最終回

# 縁DO LIFE

～笑顔を力に～

鮫川村で約1年間を過ごした緑のふるさと協力隊の遠藤敬介さん。
見知らぬ土地で、さまざまなことに挑戦し、体験しました。
その中でたくさんの人、食や自然との出会いがありました。
今回、活動のまとめとして、1年間を振り返ってもらいました。
敬介さんの目には、どのように鮫川村が映ったのでしょうか。
敬介さんの鮫川体験記「縁・DO・LIFE」最終回です。

## 農作業や都市交流など多くのことを体験

緑のふるさと協力隊とは、特定非営利活動法人「地球緑化センター」が主催するプログラムです。自分の将来への可能性を見つけようとする若者たちが、農山村を舞台に1年間地域に密着し、さまざまな活動を行います。

受け入れ自治体は地域づくりに隊員の感性・行動力を生かし、隊員は行政や地元の人と共に地域活動に取り組みます。

鮫川村は２００５年から隊員を受け入れ、私は８代目となります。

私は、子どものときから親の都合で、全国各地を移動し、さまざまな環境に身を置きました。そのため、知らない場所に行き、新しい風景、人に出会うことが好きになりました。

鮫川村の協力隊員として、14年４月10日に着任。富田地区に家を借り、地区の住民として生活を始めま


1


2


3

1_鮫川村に来たばかりのころの私。まだ緊張が解けない表情をしています／2_田んぼの代かきを手伝いました。初めてトラクターを操縦しました／3_「手・まめ・館」でレジ業務を手伝いました。皆さんに顔を覚えてもらえました

した。

協力隊に参加したきっかけは、14年1月に東京国際フォーラムで行われた「新農業人フェア」で地球緑化センターの職員と知り合い、農作業は1年を通してこそ意味があると思ったからです。そして、大豆が特産品であること、大学生をはじめとする都市交流が盛んであることから鮫川村を希望しました。

活動は、紹介していただいた農家さんや「手・まめ・館」で知り合った農家さんの農作業の手伝い、特産品開発の手伝い、大豆栽培、家の脇の畑ではいろいろな野菜を作りました。

特に印象に残っていることは、大豆栽培です。6月に作付けをしてから収穫までの一連の流れを体験しました。農業の大変さが最も身に染みる作業だったのではないかと思います。農産物加工・直売所「手・まめ・館」では、販売業務や加工業務の手伝いをさせていただきました。現場に入ることによって、鮫川村の6次産業がどのようなものかを知ることができました。そして、買い物客や生産者の意見を聞き、直売所の大切さが改めて分かりました。

他にも▼農家民宿の宣伝▼広報紙の原稿執筆▼うまいもの祭りや西野区相撲大会などの行事参加▼東京農大や大妻女子大などの実習やグリーン・ツーリズムの同行―など村の多くの事に関わらせていただきました。それにより各地区、各集落の雰囲気を直接知れたり、都市部から来た人たちが鮫川村をどう捉えているのかを聞くことができたりしました。







**4**_大妻女子大のホタルツアーに同行しました。女性に囲まれて自然と顔がにやけてしまいます／**5**_「高原の鮫川うまいもの祭り」に参加しました。村内外から多くの人が訪れました／**6**_西野区相撲大会に出場。細い体を酷使しました

## よそ者がなじみやすい環境づくりが大切

活動を通して感じたことがあります。まずは、「人との関わり」です。地区住民、村民同士の親交が深く、青年会、消防団、お祭り、サロンなど、交流する機会が多いと感じました。また、よそ者の私を温かく輪の中に迎えてくれました。村民の皆さんの優しさ、支え合い、気遣いなどに触れ、人付き合いの大切さに気付きました。

特に印象に残った出来事は、私が自ら企画した「若葉のふるさと協力隊」という4泊5日の農村体験プログラムです。各大学から5人の学生が参加。主に富田地区の皆さんにお世話になり、お祭り、農作業、特産品作りを通して、地元の人たちと触れ合いました。このプログラムがきっかけとなり、そのうちの1人がまた鮫川村を訪れ、大工の見習いをしています。こうしたつながりをつくることができ、本当にこのプログラムをやってよかったと思いました。

一方で、人との関わりを通して見えてきた課題もあります。▼人口減少、高齢化によるコミュニティーの衰退▼車を運転できない人は不便で孤立してしまいがち▼よそ者が来ると注目が集まり互いに警戒してしまいがち―などです。都会が好まれる理由は、埋もれることができるからです。注目されることが嫌いな人でも徐々になじんでいくことができる工夫と気を使い過ぎず、ストレスにならない環境が必要です。また、それと同時に挑戦できる舞台が必要なのではないかと思います。

## 地道な作業の継続が鮫川の自然環境を守る

次に、「自然環境」です。花（ヤマユリ、江竜田のツツジ）、ホタル、星空が特にきれいだと感じました。しかし、このような自然環境


1


2


3

**1**_白河市で開催された「ゆるキャラフェスタ」に「ゆうきの郷土」イメージキャラクターの「ゆうきくん」と参加。鮫川村をアピールしました／**2**_「若葉のふるさと協力隊」に参加した大学生と船木正衛さん＝富田字反田＝の自宅で焼き肉を堪能しました。／**3**_折戸地区のサロンに参加しました。地区の高齢者が集まり話をしたり体を動かしたり楽しいひと時を過ごしていました／**4**_江竜田の滝のツツジが見ごろを迎え、とてもきれいでした


4

も農薬や洗剤の影響により昔に比べると川が汚染され、ホタルや小魚が減少していると聞きました。他にも鳥獣被害や外来種の雑草の増加が目立ちます。

これからどれだけ有機栽培が普及し、それに伴ってたい肥が浸透するか、そして一人一人の心掛けに委ね、地道な作業を続けることが重要です。

有志で環境整備をしている「もりづくり１００年委員会」の皆さんに出会いました。主に舘山公園の整備・管理作業を行い、福島市の花見山公園に負けないようにと励んでいます。すぐに効果は出ない地道な作業、だからこそ自ら行動することによって周りを巻き込み、みんなでやる必要があると知りました。

## PRとブランド化で風評被害を克服

３つ目は、「食」についてです。低農薬・無化学肥料を心掛けている農家さんが多く、新鮮でおいしい野菜を口にする機会が多かったです。また、特産品の大豆、エゴマを生かしたさまざまな加工品があり、普段口にすることができないものを











**5**_家の前に咲いたヒマワリ。自然が豊かな鮫川村では四季の移り変わりを実感できました／**6**_鮫川村特産品のエゴマを使った「じゅうねんソフト」。子どもから高齢者まで幅広い年代に人気です／**7**_「田んぼのオーナー」の稲刈りを手伝いました。コンバインも初めて使いました／**8**_「田んぼのオーナー」の受入農家さんとオーナーの皆さんで集合写真

食べることもできました。

しかし、見た目がいい物しか売れなかったり、出荷できなかったりします。放射能の風評被害により買うのをためらってしまうのが現状です。改善するには、とにかく村の食品のPRとブランド化です。これは、付加価値を付けるということですが、ただ売るということではなく、いかにたくさんの人に食べてもらうかが、鍵になります。

また、農業体験を通して直接作って食べることは、何より村の食品に対して関心をもってもらう機会になります。そうした体験として「田んぼのオーナー制度」を運営している皆さんを紹介します。09年に渡瀬地区のさめがわライフサポートとオーナーとして企画した人たちが協力して、この取り組みが始まりました。私も田の草取り、稲刈り、脱穀作業に参加させていただきました。鮫川村の食べ物を直に食べてもらう素晴らしい機会、交流だと思いました。そして、これまで毎年続いていることが何より素晴らしいです。

## 地域づくり、景観整備に役立つ人材になりたい

協力隊として1年間活動し、反省すべき点もたくさんありました。相手に対する気遣いが欠けていたり、物事を勝手に判断してしまったり、活動当初は何をすればいいかも分からず自由奔放に動き過ぎたりしてしまいました。「郷に入ったら郷に従え」というように自分の価値観は二の次で与えられたことは何でも一生懸命やらなくてはと気付きました。また、分からないことがあれば、すぐ聞くということもこれから生きていく上で必ずやらなくてはいけないことだと思います。

これからの目標は、鮫川村の地域づくり、景観整備の役に立てる人材になることです。そのために、鮫川村のことを知らないことが多いので、1つ1つ覚えていこうと思います。そして、ネットワークを広げ、鮫川村を宣伝し、人口減少に対し、今後どうすれば移住定住につなげることができるのか研究していきたいと思います。

最後に、1年間たくさんの人たちに支えていただいたおかげで、ここまで過ごすことができました。大変感謝しています。

そして、4月からも引き続き、鮫川村に住むことになりました。これからは少しずつ鮫川村の力になれるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。




1年間のまとめを発表した活動報告会

# 4月26日㊐投・開票
# 村議会議員一般選挙

私たちの暮らしに最も身近で関わりのある鮫川村議会議員一般選挙は4月21日㊋に告示、4月26日㊐に投・開票が行われます。

私たちの「声」を村政に反映させる大切な選挙です。棄権しないで投票しましょう。

## 立候補届出等説明会

村議会議員一般選挙に立候補を予定している人に対し、立候補届け出などに関する説明会を開きます。立候補届出書類などは、説明会当日に交付します。

**日時** 4月7日㊋13時30分～

**場所** 役場2階「正庁」

**立候補できる人** 満25歳以上（平成2年4月22日以前生まれ）で、村に引き続き3カ月以上住所がある日本国民。ただし、成年被後見人、選挙などの犯罪により禁錮以上の刑の執行中または執行猶予中、被選挙権を停止されている人は除きます。

## 届け出の受け付け

**日時** 4月21日㊋8時30分～17時

**場所** 役場2階「正庁」

## 投票

**投・開票日** 4月26日㊐

**投票時間** 7時～18時

**投票できる人** 次の全てに該当する人▼平成7年4月27日までに生まれた人▼平成27年1月20日までに転入届を提出した人で引き続き村内に住んでいる人

## 期日前投票

次の要件で投票日に投票所に行けない人または行けないと見込まれる人は、投票日前に投票ができます。▼投票日当日に仕事や冠婚葬祭などで投票に行けないとき▼レジャーや買い物などの私用で投票日に投票区に行けないとき▼投票日当日に出産、手術などにより歩行困難であると見込まれるとき ※足が不自由で車いすなどを利用している人は、期日前投票をお勧めします。

**期間** 4月22日㊌～25日㊏8時30分～20時

**投票所** 村役場「村民ホール」

**その他** 期日前投票所には診療所が運行している送迎バスを利用することもできます。運行日は▼月曜日（地域指定なし）▼火曜日（西野・西山・富田方面）▼水曜日（中野・東野方面）▼木曜日（青生野方面）です。利用する場合は、必ず村診療所（☎㊾2028）に電話で予約してください。



問村選挙管理委員会☎㊾311

## 仮設焼却施設周辺 空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会は、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルは、村と環境省のホームページで公表しています。

問村地域整備課環境係☎㊾3196

**■施設周辺の空間線量**（3月20日実施） [μSv/h]

| | 測定箇所 | 測定値 |
|---|---|---|
| モニタリングポスト測定値 | 仮設焼却炉入口 | 0.10 |
| | 青生野小学校 | 0.10 |
| | 朝日山登山道入口 | 0.09 |
| | 青生野肥育組合 | 0.11 |
| | 鹿角平観光牧場 | 0.07 |

| | 測定箇所 | 測定値 |
|---|---|---|
| 仮設焼却炉周辺の測定値 | 施設東側120m | 0.14 |
| | 施設南側120m | 0.12 |
| | 施設西側120m | 0.12 |
| | 施設北側120m | 0.11 |
| | 仮置場看板付近 | 0.08 |
| | 石久保線起点 | 0.12 |
| | 石久保線終点 | 0.10 |
| | 和協管理棟付近 | 0.12 |

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届け出をする人へ

# 職業・産業記入に協力を

厚生労働省は、27年4月1日㈬から1年間、5つの届け書に職業・産業の記入をお願いしています。

届け出は、厚生労働省が実施する人口動態調査にも活用され、毎年、出生・死亡・死産・婚姻・離婚の状況を調べ、調査結果は公衆衛生、労働衛生、社会福祉などの各施策のための基礎資料として活用されます。

人口動態調査で使用する情報は、統計法により厳しく守られていますので、安心して記入してください。

**対象届け書**　出生届、死亡届、死産届、婚姻届、離婚届

**対象期間**　27年4月1日㈬～28年3月31日㈭

**記入方法**　各届け書を届け出るときに、それぞれ職業を記入してください。　※左枠の記入例を参考にしてください。その他　役場窓口に備え付けてある「出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届け出をする人にお願い（職業・産業例示表）」を参考の上、記入してください。不明な点は、役場窓口に問い合わせてください。

問 村住民福祉課住民係☎㊾31 13

記入例

①一般事務員など…「事務職」
②販売員や営業職従事者など…「販売職」
③美容師やホームヘルパーなど…「サービス職」
④各種製品製造や機械組立従事者など…「生産工程職」
※死亡届に関しては、上記職業のほか、「農業」「建設業」「製造業」といった産業の記入も併せてお願いします。



# 村職員人事をお知らせします

■**異動**（4月1日付）　※（　）内は旧所属

［課長職］

▶地域整備課長（議会事務局長〔併〕監査委員会書記）**増谷隆夫**▶農林課長〔兼〕振興公社準備室長〔併〕農業委員会事務局長（農林課長補佐〔兼〕林業畜産係長）**村山義美**

［課長補佐］

▶鮫川幼稚園副主幹兼教頭（鮫川保育園主任専門保育士）**松崎幸子**▶企画調整課長補佐〔兼〕企画振興係長（企画調整課長補佐）**鏑木重正**▶鮫川保育園副主幹兼次長〔兼〕さめがわこどもセンター副主幹兼副園長**鈴木恵美子**▶議会事務局長〔併〕監査委員事務局書記（会計管理者〔兼〕出納室長）**齋藤利己**▶会計管理者〔兼〕出納室長（学校給食センター次長）**古舘甚子**▶農林課長補佐〔兼〕林業畜産係長（企画調整課商工観光係長〔兼〕交流施設係長）**星徹**

［係長職］

▶出納係長（出納室主任主査）**鈴木節子**▶企画調整課商工観光係長〔兼〕交流施設係長（総務課税務係長）**鈴木隆寛**▶学校給食センター所長心得（企画調整課企画振興係長）**舟木正博**▶総務課税務係長（企画調整課国土調査係長）**長久保仁一**

［主査職］

▶教育課（農林課農政係〔兼〕林業畜産係）**圓井智子**▶診療所専門看護師（住民福祉課専門看護師〔兼〕診療所専門看護師）**前田甲子**▶鮫川幼稚園専門教諭（鮫川保育園専門保育士）**渡辺明美**▶企画調整課（地域整備課環境係）**生田目昌信**▶農林課（住民福祉課福祉係）**水野亮達**▶さめがわこどもセンター専門栄養士（教育課生涯学習係兼公民館主事）**中川西ミユキ**▶住民福祉課（農林課農政係）**須藤尚紀**

■**新採用**（4月1日付）

▶企画調整課**西橋耕平**▶企画調整課**西野瑞宣**▶住民福祉課**関根夏希**▶農林課**宇佐見純平**▶地域整備課**平田太良**▶鮫川保育園**芳賀明日香**

■**退職**（3月31日付）

▶**本郷秀季**（農林課長〔兼〕振興公社準備室長〔併〕農業委員会事務局長）▶**佐藤博**（地域整備課長）▶**芳賀洋子**（鮫川保育園副主幹兼次長〔兼〕さめがわこどもセンター副主幹兼副園長）

## 桜に願いを込めて
### 村内小・中学生が卒業記念植樹


協力して苗木を植える卒業生たち

今年3月に卒業を迎えた小・中学生の卒業記念植樹は3月5日、舘山公園で行われ、青生野小6年生1人と鮫川小6年生28人、鮫川中3年生34人が参加しました。子どもたちは舘山公園の「記念植樹エリア」にオオヤマザクラ5本を丁寧に植えました。

## 新酒の味を確かめる
### 「鮫川21」をお披露目

原酒純米吟醸「鮫川21」のお披露目会は3月16日、手まめ館で行われ、参加者は新酒の色や香りを堪能しました。西山成苗組合が村の農業振興を願い、無農薬無化学肥料で「農林21号」を栽培。藤田屋本店(棚倉町)が安全・安心にこだわった米を仕込みました。


新酒の完成を祝う参加者

## 消防活動に貢献した功績認められ
### 村消防団渡邊さんと小嶋さんが受賞

長年にわたり村消防活動に貢献した功績が認められ、渡邊浩佳副団長(54)と小嶋満訓練指導部長(54)に消防庁長官から「永年勤続功労章」が贈られました。伝達式は3月13日、役場村長室で行われ、小野和彦県県南地方振興局長から2人に章記が手渡されました。


受賞を喜ぶ関係者


積み木で遊ぶ子どもたち

## 間伐材を利用した積み木に大満足
### 県森林組合連合会が積み木を寄贈

県森林組合連合会(國井常夫会長)がこどもセンターに積み木3組を寄贈しました。子どもたちが室内で楽しく遊べる環境づくりを支援する目的で実施。積み木は間伐材を再利用しているため、木の香りと温もりが感じられます。子どもたちは、使い心地に満足している様子でした。

## 村政TOPICS

### 万が一に備えて訓練に臨む

全国春季火災予防運動中の3月1日、火災防御訓練が西山字大沢地内で行われました。

「通行人が投げ捨てたたばこにより枯草に着火、山林へ延焼拡大し民家に火勢がせまった」との想定で、棚倉消防署鮫川分署と村消防団により、通報から出動、放水などの消火訓練が繰り広げられました。消防団員らは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。

また、この日は郡内4町村合同の火災防御訓練が矢祭町で行われ、大規模火災に備え、連携を確認しながら訓練が行われました。


放水訓練を行う消防団員

# ほっとニュース

## 思い出の学び舎を巣立つ
### 村内小・中学校で卒業証書授与式

村内小・中学校の卒業式は、鮫川中学校が3月13日、青生野・鮫川小学校では、同23日に各校体育館で行われました。

このうち鮫川中学校(佐藤勝久校長、99人)では34人(男子17人、女子17人)の生徒が晴れて卒業。佐藤校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。

また、鮫川小学校(芳賀なおみ校長、177人)では28人(男子13人、女子15人)、青生野小学校(遠藤真由美校長、12人)では1人が、思い出多い学び舎を巣立ちました。







1_先生や在校生との別れを惜しむ卒業生(鮫川中) ／2_遠藤校長から卒業証書を授与される卒業生(青生野小) ／3_在校生と保護者に拍手で見送られる卒業生(鮫川小)

## 卒園児がリズム運動や歌を披露
### さめがわこどもセンターで幼稚園卒園式

平成26年度幼稚園卒園式は3月20日、さめがわこどもセンターで行われました。式では、第1部として授与式が行われ、卒園児32人(男子15人、女子17人)に鈴木令子園長から卒園証書を授与。第2部では、卒園児がリズム運動や歌などを保護者の前で披露しました。



堂々と卒園証書を受ける卒園児



りりしい表情で式に臨む卒業生

## 感謝の思いを胸に旅立つ
### 県立修明高校鮫川校卒業証書授与式

県立修明高等学校鮫川校の卒業証書授与式は3月1日、同校体育館で行われ13人が学び舎を巣立ちました。式では、卒業生一人一人に水野晴夫校長から卒業証書が手渡されました。卒業生を代表して杉山亜耶人さんが両親、先生や在校生への感謝などを述べました。

## 村政TOPICS

### 東大生が調査結果を発表

東京大学農学部の「地域経済フィールドワーク実習報告会」は2月27日、村公民館で行われました。

同大学の3年生11人が約1年にわたって本村を調査し、フィールドワークの手法などを実践的に学んできました。昨年9月1日から4日までの4日間では、村内の各施設を見学したり、村内農家に聞き取り調査を行ったりしました。

報告会では、学生がそれぞれのテーマについて調査、分析、評価した内容を報告。村民約60人が聴講に訪れ、学生の意見に耳を傾けたり質問したりしていました。



実習の成果を発表した報告会

村民【随想】リレー ―― 201

# 中川西香央里さん

## ありがとう

「感謝の気持ちは伝えていますか？」

私は、この問いに「いいえ」と答えます。身近にいる人ほど照れくさくて感謝の気持ちをなかなか伝えられないものです。

鮫川村に住み始めて5年が過ぎようとしています。その5年の間に3児の母となり、今年の初めには念願のマイホームの建築が始まりました。毎日が充実していて幸せな日々を過ごしています。このような毎日を送れるのも家族の協力があるからこそだと思います。特にお義母さんにはとても感謝しています。

私は22歳のときに嫁に来ました。まだまだ未熟者で家事もあまりできず、出産後は仕事に復帰したために子育てもお義母さんに助けてもらってばかりで、たくさん迷惑をかけてしまいました。それでもお義母さんは文句一つ言わずに全てを引き受けてくれました。

初めはぎこちなかった嫁姑の関係も今では本当の母娘のようなすてきな関係を築くことができ、とてもうれしく思います。きっとこれから先も迷惑をかけてしまうと思いますが、ありがとう。お義母さん。改め、お母さん。 ■

次号は、関根裕樹さん（西山字大平）にバトンタッチ！



NAKAGAWASAI KAORI

**なかがわさい・かおり**●1988年棚倉町生まれ。11年、結婚を機に鮫川村に移住。白河オリンパス㈱（西郷村）に勤務。趣味は手芸。モットーは「毎日楽しく過ごす」。夫、長女、長男、二女、義父母、義祖父母と9人暮らし。赤坂東野字中内、26歳

## 俳句

「マッサン」の気付けに一杯春隣　中井　恒峯
日一日畳の目程日脚伸ぶ　北條素人坂
草花の凍えに耐える土の下　松本　精一
春暁に阿武隈背にし木々の群　黒田　寿香
春の陽をいっぱい浴びて餅をつく　齋須　信子
四年目なお発災中原発忌　土　竜庵
震災の悲しみ新た春の雪　山本　恵子
古草の株間若芽の緑増す　前田　縫子
ほつほつと庭の山茱萸咲き初める　鈴木　米子
春来ると川面布令来る雲の影　山本五十鈴

## 短歌

長兄は八十五歳で山仕事因んで仕事の日記帳を買う　鈴木イミ子
クロリテーチームと共の練習に汗を流せば窓よりの風　佐藤　春枝
食糧の尊さ知らずその都度の政治に左右す　価格の行方　矢吹　定子
何かある仕事をみつけ為す夫　血圧などの鎮まりも見す　須藤　幸子
さすがは向日葵太陽の子だ放射能にも負けずに花を咲かせいる　水野　珠子
無限なる心の道を教えたる祖母の言葉は今も忘れず　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 37

# 自分たちの楽しみや生きがいにも



## 楽しく歌おう3KOKO（スリーココ）

齋須信子代表／3人

齋須信子さん（69）、鈴木米子さん（69）、松本弘子さん（67）の3人で結成した「楽しく歌おう3KOKO」。ボランティアで高齢者と一緒に童謡などを歌っています。信子さんが歌をリードし、米子さんが挿絵付きの歌詞カードを描き、弘子さんがハーモニカを演奏します。「1人では何もできません。3人そろって一人前」と笑います。

レパートリーは83曲あり、年代や季節に合わせて選曲します。表情が明るくなったり、昔を思い出して涙を流す人もいるといいます。「楽しみにしているからまたお願い」と言われることも多く、3人の楽しみや生きがいにもなっています。

## Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

### 本屋さんのダイアナ

柚木麻子著、新潮社

「大穴」という名前、金色に染められたパサパサの髪、行方知れずの父親。自分の全てを否定した孤独なダイアナに本の世界と同級生の彩子だけが光を与えてくれた。正反対の2人は一瞬で親友になった。強さと切なさを紡ぐ小説。




### 将来の学力は10歳までの「読書量」で決まる！

松永鴨史著、すばる舎

読解力は学力の基盤であり、それを培うのが読書。地頭が作られる10歳ごろまでにどれだけの本を読んだか。読んでもらったか。幼少期の読書体験がその後の学力に大きな影響を及ぼす。




第3土曜日は 家族一緒に読書の日

汗と丹精の賜という農作業の光は
作りしこころ映して　溝井　清乃

湯気立たせ畑は待つらしわが足を
野菜も緑にひからせがら　坂本　伊紀

罪のない東京大空襲裁かれず戦後
を過ごす容易な政治は　一　平　子

曾孫等も大声だして鬼は外節分豆
撒きひときわ賑わう　石井　幸子

寒暖の激しき季節大事にと健康管
理に日毎注意を　須藤シツエ

豪雪と寒さに耐えし福寿草黄色に
輝き咲く花愛し　前田喜三子

小雪舞う中に銀色ネコヤナギ先祖
に供え香を薫きおり　関根ヨネ子

厳寒も明けて如月日足のび梅の蕾
もふくらみ初める　藤田千代子

友として茶を飲みながら「アレナン
ダッケ」出て来ぬ言葉に声出し笑う　関根ハナヨ

臘梅の花咲く根元に福寿草共に春
よと私に元気を　関根　富久

病みし身に鞭打ち務める吾なりに
友の支えに応えるべきと　板橋　源良

君子欄花弁小さく覗かせてやがて
花咲く春を待ちいる　関根キヌ子

銀世界山鳩二羽に餌を与うお礼の
つもりか間近に鳴きぬ　矢吹　一二

長閑なる日差し受けいるなだりに
は蕗の薹ほつほつ首出し初める　北條　平

あなたの光る技
# キラり
Vol.33

交通教育専門員
## 鈴木　勲さん
すずき・いさお／赤坂中野字伏木田／70歳

# 子どもたちの安全な登校と成長を見守り続ける



子どもたちに指導するために日ごろから勉強したり、ネタを集めているという勲さん

毎朝7時20分から30分間、道少田地内のT字路に立ち、登校する子どもたちの安全を守っている交通教育専門員の鈴木勲さん。２００８年に村の委嘱を受け、街頭指導のほか、こどもセンターや小・中学校の交通教室、広報活動などを行っています。

5時起床、7時には家を出発。健康づくりも兼ねて徒歩で丁字路へ向かいます。鮫川小の登校日に合わせて行うため、雨や雪は関係ありません。「2月は寒さが厳しく、氷点下10度を下回る日も珍しくありません。さすがにこたえます」と勲さん。しかし、子どもたちの顔を見るのが楽しみになっています。「にこにこしてくるときもあれば、兄弟げんかをして泣きべそをかいてくるときもあります。うれしいことがあると話をしてくれます」と顔がほころびます。

子どもたちからの感謝の手紙や一緒に撮った写真は、丁寧に袋に入れられ、勲さんにとって宝物になっています。

もうすぐ新学期、勲さんは変わらず子どもたちの安全な登校と成長を見守りながら、「おはようございます」とあいさつをします。



子どもたちを安全に横断させる勲さん。「毎日会うので、上から押さえつけるのではなく１人の人間として接するように気を付けている」と、子どもたちに「おはようございます」とあいさつします

若者の広場　No.124

# Young Plaza

## 高坂千恵さん

### 子どもがのびのび遊べる場所を



たかさか・ちえ
1993年９月14日生まれ　21歳
AB型　おとめ座
趣味は育児
赤坂西野字上在住

**★今、夢中になっていることは？**

娘に夢中です。いつも笑顔でかわいくて仕方ありません。お嫁にいってほしくないほどです。育児も楽しくて全く苦になりません。

**★これからチャレンジしてみたいことは？**

家族旅行をしたいです。今までは１泊で温泉などに行っていますが、海外にも行ってみたいです。

**★鮫川に住んで感じることや村政について思うことは？**

郡山市から鮫川村に来て１年半が経ちました。少しずつ道を覚えて、慣れてきました。空気がきれいだと思います。あと、紙おむつ無料券はとても助かっています。乳幼児健診も親身になってくれます。

**★鮫川村に要望などはありますか？**

子どもが気軽にのびのびと遊べる場所がほしいです。普段、外で遊ぶことがほとんどないので、週末に外出して遊んでいます。屋内遊び場や公園などがあるといいと思います。

**５月は、生田目竜弥さん（青生野字青生野在住）の予定です。**

# 学校だより

（126）

青生野小学校編

## 学習のまとめに

学年のまとめの時期である３学期、上学年児童を対象に、国語、算数の基礎的な学習内容の定着を図るために「放課後勉強会」を行いました。

放課後、４、５年生は４年生からの基礎的内容を、６年生は中学入学に向けての補充学習を行いました。各自のペースで進め、子ども自身が自分の苦手なところを確認するとともに、克服しようとする気持ちを大切にして進めました。



一人一人が課題に向き合い、真剣に取り組む姿が見られ、うれしい限りです。

まもなく進級、進学を迎えますが、今できることを少しずつ増やし、自信を持って次の学年に進むことができるように励ましていきます。

## 鮫川和紙の魅力に触れて

２月19日、森林環境学習の一つとして、鮫川和紙の紙すき体験学習を行いました。講師の齋須寛一先生から鮫川和紙の特徴や作り方について話をうかがった後、実際に紙すきをしました。やってみると難しく、特に厚さの調節に苦労しましたが、子どもたちは、世界でたった一枚のはがきを作ろうと取り組みました。



完成したはがきは、とても丈夫で温かみの感じられるものでした。子どもたちは、早速はがきを使って手紙を出したいと張り切っていました。

今回の体験活動は、鮫川の素晴らしい伝統に触れ、ふるさとの良さを感じ取るいい機会となりました。齋須先生、ありがとうございました。

（文・写真／青生野小学校）

# 情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

## ⓘ案内

### 畜犬登録・狂犬病予防注射を実施します

27年度畜犬登録および狂犬病予防注射を行います。

**実施期間**　4月13日㈪～16日㈭の4日間　※実施場所・時間などの詳細は、回覧文書でお知らせします。

**対象**　4月13日現在で、生後91日以上の犬

**注意**　狂犬病予防注射の集合注射は年1回の実施となりますので、忘れずに受けてください。



問　村地域整備課環境係㊾3196

### 未登録の銃砲刀剣類は登録を受けてください

未登録の銃砲刀剣類を発見したときは、登録を受けてください。登録、所有者変更、再交付申請などの手続きを怠ると、不法所持になり罰則を受けることがありますので、速やかに手続きを行ってください。

**登録方法**　①最寄りの警察署に発見届を提出してください。②県教育委員会から案内がきたあと、登録審査会で審査を受けてください。

**持参物**　登録審査会には、次のものを持参してください。▼①発見届をした銃砲刀剣類②銃砲刀剣類発見届出済証③登録申請書④印鑑⑤登録審査手数料（1件につき、6300円分の福島県収入証紙）⑥委任状（代理人に依頼する場合）

**審査会日程・会場**　▼刀剣類のみ①5月21日㈭いわき市合同庁舎②9月18日㈮会津若松合同庁舎③12月3日㈭県庁内会議室▼銃砲類・刀剣類①7月15日㈬郡山市労働福祉会館②2月18日㈭郡山市労働福祉会館

**審査会時間**　10時～12時、13時～15時

問　県教育委員会文化財課☎024-521-7787

### 久慈川上流圏域河川整備計画案の閲覧

久慈川上流圏域河川整備計画を策定するため、計画案の閲覧を行います。

**期間**　4月20日㈪～5月8日㈮8時30分～17時（平日のみ）

**場所**　県南建設事務所河川砂防課、村役場

問　県南建設事務所河川砂防課☎0248㉓1625

### 8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。
4月の担当は――

**学校給食センター**
**小川美波**さん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

| | |
|---|---|
| 住民福祉課 | |
| 健康係 | 49-3112 |
| 住民係・福祉係 | 49-3113 |
| 農林課 | 49-3114 |
| 企画調整課 | 49-3115 |
| 地域整備課 | |
| 建設係 | 49-3116 |
| 環境係 | 49-3196 |
| 農業委員会 | 49-3197 |
| 議会事務局 | 49-3198 |
| 出納室 | 49-3199 |

【その他の機関】

| | |
|---|---|
| 教育委員会 | 49-3151 |
| 図書館 | 29-1150 |
| 農業者トレーニングセンター | 49-3295 |
| 学校給食センター | 49-2113 |
| こどもセンター（保育園・幼稚園） | 29-1010 |
| 保健センター | 29-1231 |
| 国保診療所 | 49-2028 |
| ほっとはうす・さめがわ | 48-2555 |
| 手･まめ･館 | 49-2556 |
| 山王の里 | 48-2848 |

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
軽自動車税
※納期限：4月30日(木)

# information

## 相談

### 心の健康相談

県南保健福祉事務所は、さまざまな心の悩みで困っている人またはその家族を対象に「心の健康相談」を開催します。相談は無料で、秘密は厳守します。悩んでいる人はこの機会に相談してください。

**日程** 4月15日㈬、5月20日㈬、6月17日㈬ ※毎月1回相談日があります。

**時間** 13時30分～

**場所** 県南保健福祉事務所（白河市郭内127）

**対象者** うつ状態、不登校、ひきこもり、認知症、お酒がやめられない、自殺に関する心の悩み、その他の心の悩みでお困りの人またはその家族

**担当者** 精神科医、保健師

**申し込み** 面接相談（精神科医、保健師）は予約制です。精神科医の面接相談は、保健師が事前に内容を聞き、予約となります。保健師の電話相談は随時対応します。

問 県南保健福祉事務所健康福祉部保健福祉課☎0248㉒5649

### 法律の専門家による消費生活無料法律相談

県は、多重債務問題や契約トラブルなどさまざまな消費生活相談に対応するため、法律の専門家による相談を行います。

**相談日** 4月7日㈫、6月2日㈫ ※偶数月（4、6、8、10、12、2月）の第1火曜日

**相談時間** 13時～17時（1人あたり30分）

**会場** 県南地方振興局（白河合同庁舎・白河市昭和町269）

**相談方法** 来所および電話相談 ※事前に予約が必要です。

問 県南地方振興局県民環境部県民生活課☎0248㉓1548

## 保健

### B型肝炎ウイルス検査を受けましたか

昭和23年から63年までの間で、満7歳になるまでに集団予防接種やツベルクリン反応検査を受けた人は、注射器の連続使用が原因でB型肝炎ウイルスに感染した可能性があります。



B型肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、肝炎ウイルス検査でわかります。保健所や医療機関などで、原則無料で検査をしています。

過去の集団予防接種などにより、B型肝炎ウイルスに感染した人に、病態に応じて50万円から3600万円の給付金などを支給する仕組みがあります。

問 厚生労働省健康局結核感染症課☎03-5253-1111

## むし歯のない子

2月19日に村保健センターで実施した3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児10人中8人でした。※①保護者②むし歯予防のために頑張ったこと



**根本悠桜ちゃん　西山字岩野草**

①父・潔　母・彩
②寝る前はジュースではなく水か麦茶。毎日、夜の歯磨きを頑張りました。



**松島優輝君　赤坂中野字宿ノ入**

①父・貴之　母・明美
②食事に気を付けました。毎日、朝晩の歯磨きも頑張りました。



**生田目真來ちゃん　赤坂東野字広畑**

①父・宏好　母・真弓
②飲み物は買い置きせず、甘い物も食べ過ぎないように気を付けています。仕上げ磨きも頑張りました。



**白坂伶依ちゃん　赤坂西野字茅**

①父・雄一　母・貴子
②時間を決めておやつを食べるようにしました。キシリトールも手伝ってくれたのかな…



**五十嵐暖君　赤坂東野字広畑**

①父・武　母・恵美
②大きな口を開けて頑張っています。仕上げ磨きをしっかりやっています。



**石井泰嘉君　赤坂西野字酒垂**

①父・大輔　母・琴乃
②毎日、夜の歯磨きと「ぐちゅぐちゅぺ」をたくさん頑張りました。



**蛭田梨湖ちゃん　渡瀬字田野上**

①父・智勝　母・奈緒美
②むし歯の絵本を読み聞かせています。歯磨きと仕上げ磨きを頑張りました。



**関根咲人君　青生野字姿平**

①母・理恵

# April 4

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

| 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|
| | **4/1**<br>◆送迎バス運行日<br>（中野・東野方面）<br>●「手･まめ･館」定休日<br>●「さぎり荘」定休日 | **2**<br>◆送迎バス運行日<br>（渡瀬・青生野方面）<br>●「すまいる」定休日 | **3** | **4** |
| **7**<br>◆送迎バス運行日<br>（西野・西山・富田方面）<br>●村議会議員一般選挙立候補届出等説明会…13:30～／役場正庁 | **8**<br>◆送迎バス運行日<br>（中野・東野方面）<br>●「さぎり荘」定休日<br>●入園式［こ］ | **9**<br>◆送迎バス運行日<br>（渡瀬・青生野方面） | **10** | **11** |
| **14**<br>◆送迎バス運行日<br>（西野・西山・富田方面）<br>●村議会議員一般選挙立候補届出書類等事前審査…9:00～／役場正庁<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保] | **15**<br>◆送迎バス運行日<br>（中野・東野方面）<br>●「さぎり荘」定休日 | **16**<br>◆送迎バス運行日<br>（渡瀬・青生野方面）<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保] | **17**<br>●心配ごと相談…<br>13:00～15:00[公] | **18** |
| **21**<br>◆送迎バス運行日<br>（西野・西山・富田方面）<br>●村議会議員一般選挙告示同立候補届出受付…8:30～／役場正庁<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保] | **22**<br>◆送迎バス運行日<br>（中野・東野方面）<br>●「さぎり荘」定休日 | **23**<br>◆送迎バス運行日<br>（渡瀬・青生野方面）<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保] | **24**<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保] | **25** |
| **28**<br>◆送迎バス運行日<br>（西野・西山・富田方面）<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保] | **29** 昭和の日<br>㊡金澤医院（矢祭町）<br>☎46-2312<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●「さぎり荘」定休日 | **30**<br>◆送迎バス運行日<br>（渡瀬・青生野方面）<br>●軽自動車税納期限<br>●やまぶきの会…<br>10:00～15:00[保] | **5/1**<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保]<br>●献血 | **2**<br>●ふるさと春まつり |
| **5** こどもの日<br>㊡ 大木医院（棚倉町）<br>☎33-2424<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●ふるさと春まつり | **6** 振替休日<br>㊡ 東白川中央医院<br>（棚倉町）☎33-3263<br>●「さぎり荘」定休日 | **7**<br>◆送迎バス運行日<br>（渡瀬・青生野方面）<br>●「すまいる」定休日 | **8**<br>●筋力づくり教室…<br>10:00～15:00[保] | **9** |

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

## お誕生

2月届け出分・敬称略



宗田　凜乃音（りのん）・女
平27.2.1生
住所…官代
保護者…謙二・めぐみ

## おくやみ

2月届け出分・敬称略

| 住所 | 氏名 | 月日 | 年齢 |
|---|---|---|---|
| 大平 | 関根　一兄 | 1.30 | 82歳 |
| 彦次郎 | 坂本　春光 | 1.31 | 85歳 |
| 水口 | 鈴木　醇 | 2. 3 | 91歳 |
| 酒垂 | 白坂セイ子 | 2. 8 | 86歳 |
| 田尻 | 蛭田　光義 | 2.16 | 92歳 |

## 人の動き

3/1現在・（　）は前月比

| | | |
|---|---|---|
| 人口 | 3,839人 | （－ 2） |
| 男 | 1,934人 | （－ 5） |
| 女 | 1,905人 | （＋ 3） |
| 世帯 | 1,164戸 | （± 0） |

## 寄付寄贈

2月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…坂本悟（彦次郎）　関根一則（大平）　鈴木章弘（蕨ノ草）　蛭田正美（田尻）　村老人クラブ連合会（我妻隆会長）

■**ひだまり荘へ[タオル]**…藤田隆千代（道少田）　村老人クラブ連合会（我妻隆会長）

■**自然環境の維持、保全および整備に関する事業に[金員]**…廣瀬洋子（東京都）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

### 編/集/後/記

■広報担当4年目の春を迎えました。引き続き、皆さんにご協力いただきながら広報紙を発行していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。■多くの可能性を秘めた「農家民宿」。経営者だけではなく、私たち地域の人たちが関わり応援することで、さらに可能性は広がります。今回の特集が農家民宿の輪が広がるきっかけになればと思います。　（前田）

# 暮らしのカレンダー

| 日 | 月 |
|---|---|
| | |
| **5**<br>㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528<br>第1日曜日は環境美化の日 | **6**<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●小・中学校入学式・始業式 |
| **12**<br>㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 | **13**<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 |
| **19**<br>㊡つちやクリニック（塙町）☎43-2250 | **20**<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●心配ごと相談…13:00～15:00[公] |
| **26**<br>㊡ふじた循環器科内科クリニック（棚倉町）☎33-2013<br>●村議会議員一般選挙投票日 | **27**<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日 |
| **3** 憲法記念日<br>㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012<br>●ふるさと春まつり<br>第1日曜日は環境美化の日 | **4** みどりの日<br>㊡ 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●ふるさと春まつり |

広報 さめがわ
Public Relations SAMEGAWA
4 April 2015

金婚を迎えた夫婦を紹介



## 半世紀の歩み Episode_16

## 齋藤輔男さん 美津江さん

赤坂東野字広畑／1964（昭和39）年11月結婚

結婚したのが、まるで昨日のことのように感じる」と、輔男さんは目を閉じて50年を振り返りました。

西島旅館で結婚式をし、新婚旅行にも行きました。そのときに買った茶たくを今でも大切に使っています。

輔男さんは本業の竹細工のほか、繭とコンニャクの仲買を、美津江さんは役場に勤めながら、子ども２人を育て上げました。養蚕の最盛期には、夜遅くまで一緒に仕事をしたといいます。

現在は、孫の成長が何よりの楽しみだと話すお二人。送迎をしたり、手作りのおかずを食べさせたりしています。「孫からお礼の手紙をもらった」と目を細めました。

こちら 村長室

▼別れがあるから、出会いがある。この時期、若者の大きな目標を持っての巣立ちがあり、それぞれにご家族の期待を背負っての入学式がありと皆さん忙しくなります。▼村議会も、今期最後の３月定例議会となりました。議員も私も４年間最後の責務に緊張していました。議案が多く、「みんなが安心して暮らせる村づくり」「人の集まる活気のある村づくり」の目標達成に、65件の議案の審議をいただく議会となりました。▼27年度は、４月に村議会議員、８月に村長、11月に県議会議員の選挙となります。青年が高い志と勇気を持って村長選挙、議会議員選挙に挑戦できる機会です。村を変えるのも、新しい時代を築くのも勇気ある青年の力です。年々厳しさを増していくかのような農村の社会経済環境の中、知恵を出し合い、豊かな明るい農村を目標に、さらに頑張れる村、そして議会となりますよう願っています。

大樂勝弘

平成27年4月1日発行（毎月1日発行）
第732号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5